

JFEシステムズ／メルクネット導入事例

③

明治は当時「明治乳業」および「明治製菓」の2社を統合し事業再編する時期で、システムも従来よりも大規模なシステムを開発し、データベース(DB)の共通化が必要だった。統合以前、すでに1社はJFEシステムズの自社設置型品質情報統合DB「メルクリウス」を使用し、独自のネットシステムで原料規格書を集めていた。統合を機にイントラネット化で将来的な運用コストの削減や原料サプライヤーの利便性向上などトータルメリットが高いと判断し

た。既存のネットシステムから、メルクリウスネット（メルクネット）へ移行導入を決めた。一方、既導入側の考え方が近しく調整範囲内に収まった

明治



齊藤智子 生産本部技術規格情報グループ長

将来的にコスト削減

「全社的に規格書として求める情報を厳密に求めているが、カテゴリごとに必要な情報を定め、原料選択には幅が持てる工夫も必要」でメルクネットは細部を微調整できる点

「全社的に規格書として求める情報を厳密に求めているが、カテゴリごとに必要な情報を定め、原料選択には幅が持てる工夫も必要」でメルクネットは細部を微調整できる点

し、社内システム取り込み時に取り違いがないよう二重チェックしている」という。

導入後評価高い

導入1年後の社内評価では作業負担、規格精度、原料メーカーの対応において「変わらない」「従来より良い」が80%以上で「総じて評価が高く」なっ

た。背景に①原料メーカー、食品メーカーの疑問点を解決するヘルプデスクの存在②複数社が利用する想定で手順書がしっかりしている、などの理由がある。

2年目で加速へ

「全社的に規格書として求める情報を厳密に求めているが、カテゴリごとに必要な情報を定め、原料選択には幅が持てる工夫も必要」でメルクネットは細部を微調整できる点

し、社内システム取り込み時に取り違いがないよう二重チェックしている」という。

「メルクネットの導入は間違いなく加速して

「全社的に規格書として求める情報を厳密に求めているが、カテゴリごとに必要な情報を定め、原料選択には幅が持てる工夫も必要」でメルクネットは細部を微調整できる点

し、社内システム取り込み時に取り違いがないよう二重チェックしている」という。

「メルクネットの導入は間違いなく加速して

「全社的に規格書として求める情報を厳密に求めているが、カテゴリごとに必要な情報を定め、原料選択には幅が持てる工夫も必要」でメルクネットは細部を微調整できる点

し、社内システム取り込み時に取り違いがないよう二重チェックしている」という。

「メルクネットの導入は間違いなく加速して

「全社的に規格書として求める情報を厳密に求めているが、カテゴリごとに必要な情報を定め、原料選択には幅が持てる工夫も必要」でメルクネットは細部を微調整できる点

し、社内システム取り込み時に取り違いがないよう二重チェックしている」という。

「メルクネットの導入は間違いなく加速して

(江端哲也)